



ひだまり

さくら千手園 佐倉市青菅1019 043-462-2008 木の宮学園 佐倉市青菅1051 043-463-1008

目次

散歩道	1
さくら千手園	2
平成10年度事業計画	2
千手園日記	2
作業班紹介(軽作業班)	3
クラブ紹介 (ボウリング・陶芸)	3
木の宮学園	4
平成10年度事業計画	4
木の宮日記	4
作業班紹介(農芸班)	5
教室活動紹介 (絵画・音楽)	5
サポート	6
ボランティア紹介	6
アプローチ	7
治療教育学(その4)	7
情報フラッシュ	8



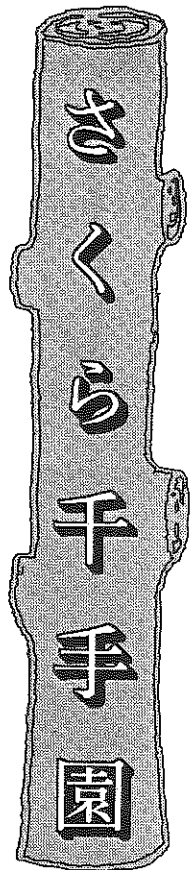
佐倉市チューリップまつりに参加して

散歩道

佐倉市の春の風物詩の一つに、チューリップ祭りがある。印旛沼の辺に風車塔がたち、何万本ものチューリップが咲き、多くの観光客の目を楽しませてくれる。

先日、利用者と一帯に見学に行っただが、歩くこと一キロ以上。畦道を通り抜け、竜神橋を渡り、人波をかきわけやつの思いで会場に着いた。まずは皆でトイレ、作品販売に頑張っている利用者と職員を激励し、見学へと。あたり一面色彩やかなチューリップが咲きほこり、記念写真をとっている、皆の視線はすでに立ち並ぶ屋台に釘付け。やはり花より団子かと早々に撮影を切り上げ屋台へと。各自思い思いの食べ物を買ひ、印旛沼を眺めながら暫しの休憩。と思いきやジュースを忘れてきたと大騒ぎ。しかし、爽やかな天気のもと楽しい一日を過ごした。

作品販売はまずまずの売上げでした。場所を提供し、ご尽力下さった佐倉市観光協会の皆様、また作品を買って下さった多くの皆様に心より感謝申し上げます。



平成10年度事業計画

事業は順調に実績を上げてきており、一部改善事項を除き、概ね昨年度事業を踏襲して行きます。

園内援助活動

「ゆとりある生活と充実した暮らし」を目標に、①生活面では、①利用者がより相談できる居室担当者をグループ担当者と別に設け、居室内を家庭的な雰囲気づくりに努めます。②食事を楽しみながら喫食することに心掛け、自由下膳や選択食を開始します。③健康・安全管理面では、引き続きインフルエンザ予防接種を行うと共に転倒事故防止に努めます。④行事面では、「クリスマス会」を「年忘れ会」に名称を変更し志津コミュニティセンターで行い、運動会は各種スポーツ行事がありますので廃止します。今後は全体行事を削減し、地域行事やニード別外出に多く参加して行きます。④作業面では、現作業班の他に、就労への

ステップアップを目的とした実習班を設けます。⑤個別プログラムでは、より必要とされているサービスを、個々のニードに合わせてケアして行きます。⑥クラブ活動面では、趣味の時間として豊かな暮らしの過ごし方を学習します。⑦長期休暇中の援助課職員体制の変更を行い、日課の充実を図ります。⑧ボランティア育成には、引き続き力を注いで行きます。

在宅支援活動

入所更生施設としての機能を活用し、短期入所事業・ミニデイサービス事業(入浴)・生活型配食サービス事業を行い、通所更生施設木の宮学園と協力し、地域の障害をもった人達の生活を支える援助サービスの拠点としての役割を果たして行きます。

今後ともご協力をお願いします。

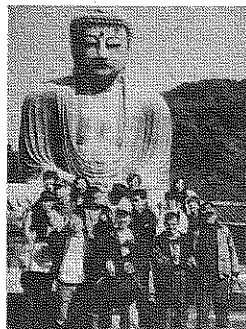
(園長 恵下 均)

<鎌倉・横浜>

ニード別外出

<伊勢・志摩>

待ちに待った出発の日、あいにくの曇空でしたが、新幹線・JR線に乗って一路三重県へ。一日目鳥羽水族館、二日目観光バスを利用して話題のスペイン村へ、三日目は今年一年の幸せを願う伊勢神宮で参拝と盛り沢山の観光となりました。長旅にもかかわらず、みんなどこに行っても興味深々で時間の許す限り観光を楽しんでいました。なかでも



一日目ーちょうど長野オリンピックで日本団体ジャンプ陣が金メダルを決めた時、横浜につきました。その様子は船橋から山下公園までの船の中で見て、私達をすがすがしい気持ちにし

志摩スペイン村のフラメンコダンスは思わず一時間も見入っていました。夕食はホテルの名物料理をたっぷり食べ、夜は露天風呂やジャグジーのある大風呂にのんびりとつかり、とても充実した3日間の旅行でした。(杉田)

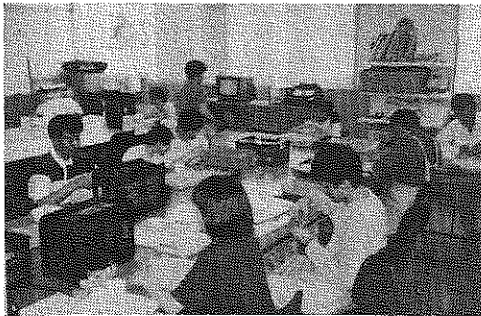


てくれました。中華街でランチ、元町でショッピングと、異国情緒ただよう横浜を満喫したのです。

一日目ー初めて見る大仏に感動する人、興味を示さない人さまざまでした。江の電に乗り地元の人との会話も大切な思い出です。三日目ー鎌倉シネマワールドでは写真撮影をしたり乗り物に乗りたり思い思いにすごしました。笑顔の裏には、今日園に帰ってしまいう寂しさが見え隠れしていました。(佐渡)

作業班紹介 (軽作業)

軽作業班は、外注作業を行っています。病院で消毒用に使用する綿球、医療用ガーゼの折りたたみ、家庭の扉などについているローラーキャッチ、贈答用のお茶箱の組み立て作業を主に... 皆さんのとも積極的に作業に取り組んでおり、自ら準備をして作業を始めています。お茶の時間に「休憩しましょう」と声をかけてもお茶を飲み終わるとすぐに作業をはじめています。例えば、Nさんは「もう少し休憩してもいいですよ」と声をかけると「お茶箱やります」と言って、自ら用具を出し組み立てを始めています。また、今年班長になったIさんは、「おしゃべりはやめよう」「しっかりやろう」と、皆に大きな声ではりきって声をかけています。出来上がった品物は各業者に納品しています。今年から、皆で車に乗って納品に行っています。綿球は稲毛方面へ、ローラーキャッチは成田方面に運んでいます。業者の方々とも仲良くなり、月に1、2回の納品をととも楽しみに作業をがんばっています。箱折りについては、業者の方が毎回取りに来てくれます。来ると皆待ちかねたように大きな声で「来たよー」と呼んで、すぐに材料を取りに車に走っていきます。業者の方といろいろな話をしながら楽しんでいるようです。作業の1つ1つはすべて流れ作業で行っており、組み立ての人、袋入れの人、箱詰めの人等、1人1人皆で協力して作り上げていて作業室内は、とても和気藹々としています。毎年3月に1年間のおつかれ様という事で、1日外出を行い皆何か月も前から楽しみに、また励みががんばっています。今年は、映画を見て温泉に入り、その後宴会で盛り上がりました。これからもがんばりますので応援して下さい。(菅野)



毎年3月に1年間のおつかれ様という事で、1日外出を行い皆何か月も前から楽しみに、また励みががんばっています。今年は、映画を見て温泉に入り、その後宴会で盛り上がりました。これからもがんばりますので応援して下さい。(菅野)

毎週金曜日近くボウリング場に行き、落ちないレーンを使用して活動しています。園では〇〇をしようねと声かけをしているM君がボールを投げたあと「一本倒れたよ!!すごいよ」とニコニコ顔で説明してくれたり、ストライクを出してプロなみの投げ方のT・Iさんなど、どの利用者も真剣にボールを見詰めています。ピンが倒れた瞬間、「やった!!」と、ガッツポーズで体一杯に表現し、職員共々歓声を上げたり、お客さんや受付嬢の方と握手したりして、楽しい一時を過ごしています。誰でも参加出来、年に二回程度、保護者とコンペをしたいとはりきっています。(望月)



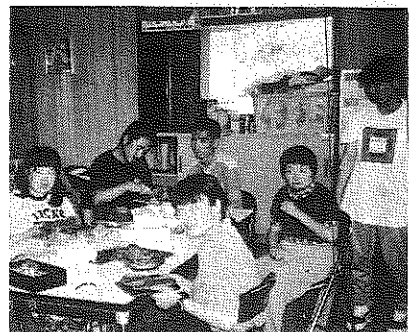
ボウリング

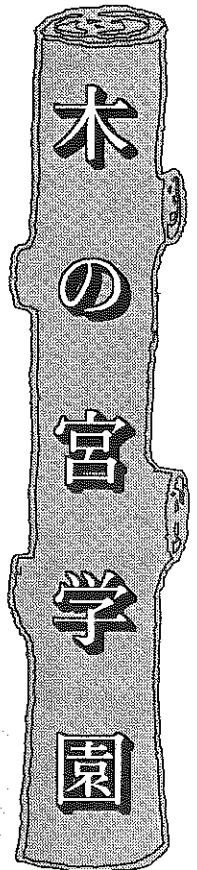


陶芸

完成した作品は、自宅で使用したりと保護者からも絶賛されています。これからは、箸置き、ペンダント等色々な作品を作りたいと思います。今度、機会がありましたらみなさんにお見せしたいと思いますので楽しみに待っていて下さい。(島田)

「陶芸クラブって何作ってるの、花瓶・つぼ?」と想像が膨らむと思いますが、作っている物はコップとお皿です。気分は芸術家です。利用者、職員、丸い粘土を切ったりちぎったりして思い思いの作品を作りあげています。日本に一ついや世界に一つしかないオリジナルティにあふれた物を作っています。





平成10年度事業計画

昨年度に掲げた今後の5年間の3つの重点課題を中心に、昨年度の年間状況を踏まえ、次の様な取り組みをしていきます。

I 家族支援

① 学園利用時間延長サービス(短時間レスパイト)の昨年度の利用実績は、延人数で50人・延時間は73時間でした。又、各家庭へアンケート調査を実施し、現状での課題を明確にし、その結果として要項の一部追加及び改正を主に次の4点行いました。

- ① 利用時間帯の中に早朝サービス(7時~8時までの一時間)を設定する。
 - ② 基本事業の中に入浴サービスを選択できるようにする。
 - ③ オプションルケアとして送迎サービス(距離に応じて料金を設定)を追加する。
 - ④ グループでの利用(一日3名を限度)を可能とする。
- 以上を4月より実施しています。

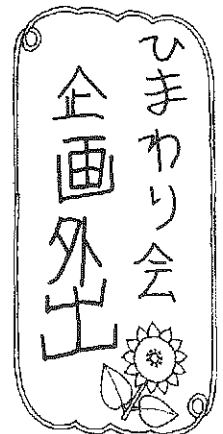
II 在宅福祉支援

佐倉市在宅障害者ミニデイサービス事業の要項改正を行い、新たに基本事業の中に送迎サービスを取り入れ、家庭の事情等によっては学園の通常送迎車を利用可能としました。これには一部送迎車両の買い替えをしたり、送迎コースの見直しを行い、現在運行している4コース全ての車両につき、1名の空席をつくることで対応していきます。又、本年度は心身障害者巡回療育相談等事業を千葉市よりの委託を受けて開始しました。

III 地域の福祉教育への支援

昨年度は、佐倉市社協主催のボランティア教室を3日間行いましたが、本年度は加えて、学園主催のボランティア教室を2回開催する予定です。本年度も多くの方々に来園して頂ける様な学園運営を心がけます。

(園長 稲阪 稔)



この企画とは、利用者の自治会「ひまわり会」の役員が会議を開き、いくつかの行き先を決め、各プランの責任者を選出します。そして職員一名をアドバイザーとして指名をし、時程・小遣い等を考え企画をまとめて皆さんに発表します。できるだけ希望に添ったグループに分かれての外出にしようと思っております。また、責任者は当日の行程だけでなく、各家庭へのお知らせ文の作成等の準備までも行います。

今回のプランは、風土記の丘・後楽園・ボウリング&カラオケ・プール・柴又・花やしきの六カ所に分かれて3月14日に出掛けてきました。当日は、各プランの責任者が中心となって行動し、入場券購入や昼食の希望等を取りました。また、メンバーをまとめるだけでなく、金銭の管理等も担当し、責任者の皆さんは、いつもとは違った面持ちで、少し緊張しているように感じました。

(山田)

木の宮日記

ぼくは風土記の丘へいきました。
こがみはリーダーとしていろいろ
おつだいをがんばりました。
バスで、せかけ2のん家でついで
できました。



(K・T)



(後楽園にて)

おたしは、ひまわり
あいのがいしゆつて
カラオケとボウリングへ
いきました。「おつてこいよ
仲間がいざけをうたいました
とておたのしかつたです。

(M・T)

作業班紹介

農芸班

こんにはちば//農芸班の汗と涙の結晶による、素敵な作物に囲まれた作業風景を紹介します。

『春』お花見の季節です。しかしのんびりとお花見をしている時間はありません。まずは、ジャガイモやトウモロコシなど夏野菜の植え付けです。シイタケの収穫も忘れてはいけません。雨が多く、作業が思うように進まず、とても大変な時期です。

『夏』祭りの季節です。千手会夏まつりの準備に大忙しとなりまふ。夏の日差しは強く、帽子をかぶっての作業です。毎年、まつりに出品している取れたてのトウモロコシやナスは、どれも味が良くすぐに売り切れとなっています。『秋』食欲の増してくる季節で



す。この時期のおすすめはサツマイモです。両手を真っ黒にしながら楽しく収穫です。落ち葉を集めての焼きイモも楽しみの一つです。冬に向けての大根やホウレン草の種まきも始まります。

『冬』風邪をひきやすい季節です。そこでビタミンのたくさん含まれた大根の収穫が始まります。冬の寒空の下、大根を洗い、たくあん漬けに挑戦です。シイタケの菌打ちや春へ向けての畑の整地にも取り組みます。

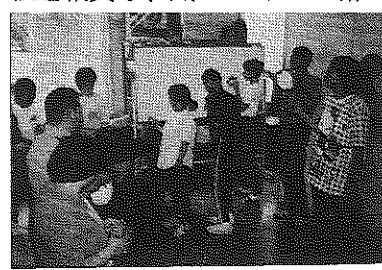
このようにして私達は、雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ、真夏の日差しや、冬の寒さニモ負ケズ、元気に活動しています。今後美味しい野菜が作れるように頑張ります。

(小石)



音楽教室

毎月第一火曜日の月一回、音楽セラピーの一環として大きな声を出してのボイストレーニングを行える様、宗方かつゑさんを講師に迎え、音楽教室を行っています。メンバーは、音楽グループ11名と、音楽の好きな方が4名加わり、計16名で活動しています。主に季節に合った歌、伝承歌、歌謡曲を唄い、ピアノのリズムに合わせて手や体を動かし、皆さんののびのびと音楽を楽しんでいる姿が見られます。その中でも、動物の泣き声の上手な方、踊りの上手な方と皆さんの個性が溢れ出し、私達職員も、気がつくと一緒に大きな声を出して唄ったり、自然に体が動いてしまう程、とても楽しい教室です。



(植松)

絵画教室

毎月第三金曜日の月一回に木の宮学園の食堂にて行っています。指導して下さっているのは、地域の絵画グループ「仲間達の会」の方々です。この教室が開かれてから丸3年経過し、楽しみにしている利用者も増え「いつやるの」と聞いてくるほど、絵を描く事に対するの興味が出てきたようにも思えます。利用者が描く絵には、それぞれの個性があふれております。



今年は、水彩画合同展に出展する事ができ利用者もとても嬉んだと同時に、他の方々の絵を見てとても刺激にもなったようで「頑張ろうね」と言う声も聞かれました。是非、一度足を運んで見て下さい。

(河野)

ボランティア紹介

床屋のおばさん

こんにちは、今日は床屋さんの日です。そう皆さんが待っていて下さるのです。「おばさん、おばさん」と言ってる。

何しろ初めて千手園の話聞いた時、場所も判らず、皆さんがどんな生活して居られるのか、心配でした。来て見てビックリ。皆さんが元氣だし、明るいし、楽しい人ばかりで安心しました。それよりなによりおばさんの散髪の腕を信じて座って下さるのがうれしくて、毎月二回行く日を楽しみにして居ます。

今年も半分過ぎようとしていますが、去年の夏まつり楽しかったネ。先生方のご苦労がしのべれますが、また元氣で頑張っている皆さんに会いに夏まつりに来たいと思います。それからこの原稿たのま



れて、困りあぐねて「ひだまり」を読み直して見ました。そしたら、キャンプや海水浴などの楽しみな旅行が有るんですね。クラブ紹介のカラオケ・エアロビクス、聞いただけでも嬉しくなっちゃう。ダイエット、おばさんでもよかったです。先日、ちょっと体調が悪くておばさんお休みした時もありましたけど、身体は順調に回復していますので、今後もよろしくお願い致します。

(N・H)

寺内ふり子と仲間たち



「仲間達の会」の人達とこの施設に絵の奉仕にきてから三年余になります。利用者には教えられずの事はかりでいつも頭の下がる思いです。毎月三回、絵の好きな仲間間で誘い合って奉仕させて頂いております。参加されている利用者の方が多く絵の好きな人達ばかりで、それぞれ色感がよく毎回楽しい絵画教室となっております。私達も配色の面ではとてもよい勉強になります。

強になりますので学び乍ら奉仕させて頂いております。

利用者の名前をあげるときがないのですが、例えばIさんは人物を描くのが得意で、周囲の人を上手にスケッチして私達を感心させるとか、N君はそのものズバリで描いてくれて、絵の基本の一つである対象をしっかりと描く姿勢を学ばせて頂いております。また、Y君はいろいろな車のパンフレットの収集家ですが、車の絵が大好きで様々なタイプの車の絵を描いては私達を楽しませてくれます。

それ以外の活動としては絵画教室で描いた絵を利用して、園側にカレンダーを作ってもらったり、又利用者は地域との交流が少ないので障害のある人もない人も同じ立場に立って、つまり社会参加して頂けたらよいと願って、時々公民館その他の絵画グループとの合同展を行っています。展示会の時には、いつも利用者の絵に人気が集まる事は事実です。

この様に私達も毎回楽しく奉仕させて頂いております。そして又長く続いたらよいと、心から願っております。

Approach

アプローチ=接近する・研究方法

治療教育学—その四—

今日の治療教育(その二)

すでに述べたように、ち

かごろ障害を持つ人々を取り巻く状況が大きく変化してきている。街で障害を持つ人や、高齢の人を見かけることも多くなってきた。

これは、ノーマリゼーション理念と、人権思想の広がりと定着化によるものかと考えられる。「障害を持つことは、人間としての価値を低めるものではない」とする考え方、人の見方がしっかりと皆の心に根付いて、すべての人が各々自分の持つ力を最大限に発揮して、共に生きる社会が出現するのなら、本当に素晴らしいことである。

さて、今、精神遅滞施設の状況は次のようである。施設総数は二千六百。利用児・者は十三万人。そこで働いている職員数五万八千名。その他の福祉サービスも実に多種多様で、その数も増加し続けている。例え

ば、

生活支援事業。地域療育等事業。地域生活援助事業。心身障害児・者デイサービス事業、等々。……精神遅滞福祉事業は巨大な事業群である。これらの運営のために支出されている公費(措置費・補助金等)は多額である。この沢山の場で何が行われているか、何が問題なのか、は誰もが気になるところであろう。

昭和六十二年・中央児童福祉審議会は、居住施設は、①利用者自らが選んだところではない、②管理性・閉鎖性、③プライバシーの制限、等の問題を有すると指摘した。私は、このうち②・③の問題は施設自身の努力で、かなり改善されつつあると見ている。暮しが



STによる言語治療

展開される場である施設が、生活の主体者を大事にするのは当たり前なのだから、まことに結構なこと、その努力に敬意を表する。

が、今、私が気になる「II気にくわない」ことがある。それは、施設職員の口から「障害はそのままの個性である」「ありのままを認めるべき」……との主張をしばしば聞くということである。これは、一般市民の言うべき言葉「又は、一般市民に対して言うべき言葉」であって、精神遅滞という障害の専門家が、言うのは許し難い。障害のために不便・不自由を感じ、落ち込んでしまう人々の障害の軽減・除去のための工夫と援助を展開するのが施設・機関の職員の専門性なのだから。障害はその人の個性だから放っておけなどといったはなるまい。私の知人にダウン症のアメリカ人青年がいる。二十才を越えた彼は印刷工場で働いているが、自分から進んで言語治療を受け続けている。その費用は当然、自分の収入から出している。逢う度に彼の言語は明瞭さを増しているのが分かる。A子さんは、興奮・乱暴で大変な人で、施設を転々。最近、小さいD園に移った。

三十八才。D園では担当のK氏が愛情と真心をこめてA子さんと付き合った。驚いたことに、A子さんは次第に落ち着き、笑顔を見せるようになり、今はよい日を過ごしている。何才になっても適切な治療教育による障害の改善が認められる事に驚かされる。生活の工夫で、選択・決定・責任の学習、情緒の安定と主体性の発達などに確実な成果がもたらされるし、コミュニケーション機能、セルフ・コントロールの力などは、配慮された日々と、専門的ケアによって改善を見ることは明らかである。もし、それがなされずにいる人がいるとしたら、まことに残念である。

渡辺 映子

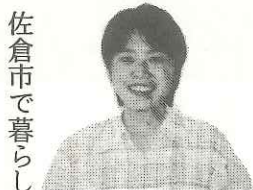
本論は次のように進めている。
一・治療教育とは何か
二・治療教育の流れ
三・今日の治療教育 その一
四・ “ ” その二
五、六・施設はどうあるべきか
限られた紙面で、意の通らない点も多いかと危惧している。ご意見(ご異議も)があったら、是非ともお寄せ下さるよう、お願いする。

行事予定

- 6月
 - 11日 千葉県監査
 - 11~12日 グループ旅行:伊豆 (⊕)
 - 15~18日 ニード別外出:北海道 (⊕)
- 7月
 - 2日~3日 グループ旅行:日光 (⊕)
 - 28~30日 ニード別外出:海水浴 (⊕)
- 8月
 - 8日 第11回千手会夏まつり
 - 8日~23日 夏休み
- 9月
 - 1日 千手会総合防災訓練
 - 11~12日 親子宿泊旅行 (⊕)
 - 25日 親子バスハイキング (⊕)

⊕; 千手園 ⊖; 木の宮学園

早く仕事の流れをつかみ、みなさんに溶け込み、楽しく、ゆとりをもって、又今の緊張感も忘れず過ごしていきたいです。宜しくお願致します。



☆ 新人です ☆

さくら千手園指導員

齋藤 昌世

大学を卒業し二ヶ月が過ぎようとしています。佐倉市で暮らし9年となりますが、

ご寄付に感謝いたします
佐倉市社会福祉協議会様より
施設案内板・佐倉市ボランティア
連絡協議会様よりCDラジカセ等
5台・一ノ木裕様・佐藤習字教室
様・佐倉老人会様(中志津5区、
6区、七睦会)・伊藤忠建材株式
会社様・佐倉市更生保護婦人会様・
合同絵画展様



さくら千手園事務員

島田 靖子

毎日緊張と不安でいっぱいです。一日も早く仕事の流



さくら千手園指導員

高橋 洋子

四年間非常勤で勤務していましたが、今年度から正職員として採用されました。気持ちも新たにこれからも張り切っ

園での生活は、佐倉を違う角度から見る事ができます。いつも笑顔で元気よく、そして、楽しく過ごしていきたいです。



さくら千手園介助員

宮下 佳子

体が動かす事がとても好きで、人に接する仕事を

をするのが夢でした。4月から入ってまだ一ヶ月。まだまだかなりの未熟ですが、持ち前の明るさとガッツでがんばりますのでどうぞよろしくお願致します。



木の宮学園指導員

保谷 高光

はじめまして。木の宮学園に来る前は肢体不自由

由児療護施設で働いていました。これからも笑顔とパワーで利用者や職員の方と楽しく、一步一步前進しながらがんばりますので、よろしくお願致します。



木の宮学園指導員

高橋 克之

私の座右の銘は「人生風任せ」です。



さくら千手園介助員

武山 由利枝

手芸班を担当することにになりました。

手芸は不得意なので不安もありましたが、明るく、楽しく、元気よく利用者の方と接していきたいと思

お世話になりました

- ・中嶋 さゆり(千手園指導員)
- ・五味 三幸(千手園指導員)
- ・彦田 幸子(木の宮指導員)
- ・宇田川 大輔(木の宮指導員)
- ・佐賀 祐美子(千手園事務員)

編集後記

梅雨が近付き、胃腸の弱い私にとっては恐怖の季節がやって参りました。皆様くれぐれも、不審な食物は避けて、体調を崩さないよう気を付けて下さい。
創刊より早いもので一年が経過しました。これからも利用者さんの楽しい様子を伝え、皆様に愛される広報誌作りに励んでいきたいと思っております。今後とも宜しくお願致します。
(山崎)